

広報 いんざい

特別号

平成 26 年 10 月 3 日発行

発行：印西市 編集：秘書広報課広報広聴班
〒270-1396 印西市大森 2364-2 電話 0476-5111(代) FAX 0476-7242
ホームページ <http://www.city.inzai.lg.jp/> Eメール home@city.inzai.lg.jp

日量 1 トン減量で、5 千万円節約

4 日、ごみ減量を学ぶ講演会

焼却炉が日量 1 トン分、小さくなれば、炉は約 5,000 万円安くなる。今、私たちがごみ減量をどのくらい推進することができるかによって、印西クリーンセンターの新しい焼却炉の大きさが決まり、費用も決まります。ごみをどうやって減量すればいいのか。日本のごみ減量をリードする徳島県上勝町の NPO 法人、ゼロ・ウェイストアカデミーの藤井園苗さんが 10 月 4 日、印西市内で講演をします。

ごみ 34 分別

徳島県上勝町は、日本のごみ減量化の「聖地」と言われています。町長のリーダーシップによって、上勝町は、焼却と埋め立てを可能な限りゼロに近づけることを宣言しました(「ゼロ・ウェイスト宣言」)。ゼロ・ウェイスト運動とは、出してきた廃棄物をどう処理するのではなく、そもそもごみを出さないという考えです。

上勝町では、NPO 法人の



講師の藤井園苗さん

ごみを減らす暮らしづくり講演会

時 10 月 4 日(土)・午後 2 時～3 時 30 分 (受け付け 1 時 30 分～)。

場 イオンモール千葉ニュータウン・モール棟 3 階イオンホール。

内 テーマ「ごみが多い毎日に嫌気を感じている人へ～ごみの減量・資源化を取り巻く日本や世界のゼロ・ウェイスト運動～」。

◆講師・・・藤井 園苗さん (NPO 法人ゼロ・ウェイストアカデミー事務局長)。

対 市内在住の人。

定 120 人程度。

費 無料。

申 住所、氏名、電話番号を電話または、メールで下記まで (先着順)。定員に達しない場合は当日受付あり。

※参加者に、いんざい君特製エコバッグを進呈。

問 クリーン推進課 クリーン推進班 (☎内線 382・✉ cleanka@city.inzai.lg.jp)。

「ゼロ・ウェイストアカデミー」が町からごみ行政の企画、運営を委託されています。町民は自ら「ごみステーション」に自分が出したごみを持ち込み、34 分別して見ます。視察が殺到 この試みは、全国の自治体関

世界と日本

10 月 4 日、印西市内のイオンホール(イオンモール千葉ニュータウン・モール棟 3 階)係者の関心を呼び、10 年ほど前から、上勝町には全国から自治体職員や議員の視察が殺到しています。上勝町と印西市は、自治体の人口規模が違いますが、ごみ減量のための基本理念は「再利用(リユース)」「削減(リデュース)」「循環(リサイクル)」であり、上勝町の試みは、印西市民と行政にとっても十分に参考になるものと思われれます。

炉の大きさ

次期中間処理施設(新たなクリーンセンター)の移転計画が進んでいます(裏面参照)。当初、千葉ニュータウン 9 住区に次期中間処理施設の移設が計画された時には、日量 240 トンの処理が見込まれていましたが、今は日量 156 トンにまで削り込んだ計画になっています。炉の大きさが、日量で 1 トン小さくなれば、建設費は約 5,000 万円安くなる、と言われていますから、すでに当初案よりも 40 億円ほどを節約した計画になっています。

自衛隊出身

藤井さんは、防衛大学校を卒業した後、航空自衛隊に自衛官として勤務した経験があります。これまで印西市で 2 回、講演したことがありますが、具体的なエピソードを交えつつ熱く語る講演スタイルは、印西市民に大好評でした。

この計画が、その通り実現できるかどうかは、ごみ減量などのくらい進むのかにかかっています。☎内線 382)。